

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立福南中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒702 - 8054

岡山市南区築港ひかり町10-35

E-mail fukunanc@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~fukunanc/

幼児児童生徒数 男子 210名 女子 226名 合計 436名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校では、2つの方面からESD活動を進めた。

① 環境に関する学習

1年生では、本校近くの児島湖の歴史に関するDVDを鑑賞したり話を聴いたりして、身近に起きている環境問題に意識を向けた。環境を改善するために自分たちにできることとして、リサイクルの方法や何に生まれ変わるかについて学習した。岡山県環境保全事業団(アスエコ)より講師をお招きし、紙すき体験を行った。各自作成した再生紙はがきに環境宣言を書き、廊下に掲示した。

2年生では、環境問題に関するDVDを鑑賞したり話を聴いたりして、環境問題の中でも特に水に関する問題に焦点を当てて学習した。身近にある水の水質を調査した。河川の水や家庭で出る水のCODを測定した。魚が住める環境であるか、どの程度きれいなのか、など、調査結果や考察をまとめてクラスで班ごとに発表した。また、文化祭で展示発表をした。

3年生では、児島湖の歴史や環境についてのDVDを鑑賞したり話を聴いたりして、児島湖に関する理解を深めた後、環境委員を中心に児島湖周辺のゴミ拾いを

行った。どんなゴミが多いのか実態調査を行った。各クラスでゴミの実態調査アンケートを行ったり環境かるたを使ったりして活動した。



② 国際理解・平和に関する学習

1年生では、岡山空襲に関するDVDを観たり話を聴いたりする中で、岡山の歴史と戦争に関する知識を得た。図書館の書物や岡山シティーミュージアムからレンタルした書物、焼夷弾のレプリカを実際に見たり触れたりし、戦争への理解を深めた。2年生5月に行く広島研修へ向けて、DVD鑑賞や歴史クイズなどを通して戦争の悲惨さや平和の尊さを学んでいて、実行委員の運営のもと学年で千羽鶴を折りすすめている。

2年生では、広島平和研修で原爆ドームや平和祈念講演を訪れ、戦争の傷跡とそこで暮らした人々について知り戦争の悲惨さや平和の尊さを考えた。ヒロシマから沖縄修学旅行へと気持ちをつなぐため、文化祭で『平和の鐘』を合唱した。原爆ドームのモザイク展示を行った。沖縄修学旅行に向けて、戦争に関するDVDを鑑賞して学習をスタートした。沖縄の歴史・文化・産業など、グループに分かれて書籍やインターネットを用いて調べ学習を行った。調べ学習の結果を模造紙と冊子にまとめた。クラス発表と学年発表を行った。校内での掲示も行った。

3年生では、沖縄戦についてのDVDを鑑賞し、沖縄戦についての理解を深めた。一人1つ平和宣言を作成し、未来の平和への意識を高めた。平和祈念公園で少年学徒兵として沖縄戦を体験した長田勝男さんの講話を聴き、平和集会を行った。ひめゆり資料館、首里城、平和の礎等の見学を行った。個人で新聞やポスター、パワーポイントなどを用い、昨年度から継続して行っていた沖縄調べのまとめを行った。クラスで全員が発表し、クラス代表が学年全員の前で発表を行った。さらに学年代表を選出し、文化祭で発表を行った。

1・2年生合同の学習として、世界の子供たちの暮らしに関するDVDを鑑賞して、海外の様子を知ったり自分の同年代の子供たちの生活について考えたりした。ユニセフ協会より講師をお招きし、ユニセフの活動や海外支援の報告を聞いて、ブルキナファソという国の様子や困難な環境について学んだ。生徒会が行っているユニセフ募金への協力など、ささやかなことで世界の子供たちのために活動できることも学んだ。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

<ul style="list-style-type: none">・ DVD 「知って！学んで！取り組んで！きれいな児島湖を未来に」・ DVD セヴァン・カリス＝スズキ リオ・サミット「伝説のスピーチ」・ DVD 「世界の果ての通学路」・ DVD NHK スペシャル「学徒兵 許されざる帰還～陸軍特攻隊の悲劇～」・ DVD NHK スペシャル「沖縄戦 全記録」・ DVD 「きれいな児島湖を未来に」・ DVD 「ミコロハコロのごみと資源とわたしたち～いまわたしたちにできること～」・ パンフレット「育てよう・美しい児島湖」 <p style="text-align: right;">など</p>
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間の目標に ①あらゆることに興味を持ち、好奇心を持ってそれを課題とする ②調査、研究、相談、体験などを通して課題を解決する ③様々な人との関わりの中でお互いに考え、表現し、受け入れあう を含み、各学年の課題として「環境」と「平和」分野を設定する。

指導方法として①生徒の課題意識をつなげ新たな課題を生み出す支援 ②人との関わりを重視した体験的な学習 ③協同する活動が必然的に生まれる学習活動 を含み、地域の方々や専門知識を持つ方々に教えていただいたりグループで活動したりする場面を持つようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年に総合的な学習の時間担当者と ESD 担当者を置き、総合的な学習の時間を中心に学習を進めている。毎年、「国際理解・平和」については学年の校外研修と関連させ、「環境」については秋ごろに ESD の基礎を学ぶ目的で講師を招いている。職員会議と担当者会議で情報交換に努める。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学習した内容を模造紙にまとめ文化祭などで展示発表したり校内掲示したりすることで他の学年や教職員に向けて成果を発表する。地域への発信の機会が少ないため、今後の課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本校文化祭の展示発表を行った。各学年がどんな学習を行ったのかを生徒たちは知ることができた。本校を訪問された保護者や地域の方々に学習の様子や成果を見ていただくことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

平成29年度は、1年生向けに公益財団法人岡山県環境保全事業団(アスエコ)、1・2年生向けに岡山ユニセフ協会に講演を依頼し、各2時間ずつ授業をしていただいた。前者は環境面での話をしていただき、再生ハガキづくりを行った。後者は海外の子供の様子を講演していただいた。また、アスエコよりDVDを借りたり情報提供を受けたりした。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

座学や調べ学習の後に児島湖清掃活動やユニセフ募金などをすることで、生徒の意欲を持たせることができた。多くのDVD教材を観たり外部の方のお話を聴いたりすることで、世界の子供の様子や戦争中の人々の生活を知り今の自分と比較し思いを寄せることができた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

環境分野では、身近に起きている環境問題を知ること、また自分たちがすべきことやできることを考えることを目標にする。1年生でESDに関する基礎的な知識を得て、2・3年生で発信活動を行いたい。本校近くの河川の清掃活動は生徒会や3年生の活動として数年間行ってきており、30年度も実施したい。

国際理解・平和分野では、いろいろな国があることやそこで暮らしている人々の様子を知り、自分だけでなく周りの人も幸せに生きることを考えさせたい。ALTとの交流の機会も活用していきたい。ユニセフ募金は継続しているので、30年度も実施したい。さらに、各学年の校外学習のタイミングに合わせて、広島・長崎への原爆投下、沖縄戦を学習し、平和の大切さを実感し、平和を維持していくためには世界が協力し助け合わなければならないことに気付かせていきたい。

3年間を見通した計画を立てたうえで、年間や学期ごとの計画を立て、スモールステップで学習を進めるようにしたい。調べた内容を文化祭で展示発表する予定である。